

事業報告書 団体名:一般社団法人ピッカ

| | |
|---|---------------------------------------|
| 事業名 | 音を絵にしてみよう！子どもたち&障がい児の為のジャズでアートチャレンジ教室 |
| 【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】 | |
| <p>■事業目的■ 昨年度は、2021年12月5日(日)川崎市立宮崎台小学校 体育館<子ども(障がい児):21名、保護者/付添:24名>、2021年12月11日(土)川崎市立浅田小学校 体育館<子ども(障がい児):23名、保護者/付添:12名>と実施した本活動を、今年度は昨年度の開催に改善事項を加え、更なる充実と波及効果を目指す。 「音を絵にしてみよう!」「ジャズを聴いて絵を描こう!」の主旨で子どもたちの創造性を育む。子どもはみんなアーティスト。目に見えない「音」を感じるままに、クレヨンアートやマーカーでのペインティングワークでの表現を学ぶ。住んでいる地域から出る機会が少ない障がい児も、また障がい児と同じ場所を共有する機会が少ない健常の子どもも共に同じ場所でジャズを体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。 音楽や美術は障がい者にこそ必要な表現活動。コミュニケーションのツールとしてアートが持つ意味を楽しさや喜びの中で習得する。アートを介して、自分の気持ちを伝える、他者を理解する、の双方向の大切さを学ぶ。アート作品等の結果が目的では無く、そこに至る迄の経験や経過こそが重要。プロのジャズギタリストによる Jazz の生演奏を聴き、体感することで、「楽しい」「嬉しい」「ワクワクする」等の素直な感情を他者へ伝える為のコミュニケーション能力育成を目指す。アートとしてそれが上手な絵等である必要は無い。</p> <p>■事業計画■ 【事業内容】 ■パフォーマンス・ショータイム 「MKG バンド」:東宝ミュージカル・『レ・ミゼラブル』への出演経験のある坂口勝を中心に、ピアニスト千葉香織、ギタリスト源内のメンバー3人によるジャズ、パーカッション、ジャグリングショーを披露。生演奏&パフォーマンス。その演奏の中で、全国の施設等でアートワーク教室を開催するデコピン(SWITCH BOMB)氏が解説しながらのアートパフォーマンス。子どもたちはまずは観て体感して驚きや感動を得て欲しい。</p> <p>■創作チャレンジ教室 参加者は、クレヨンアート、ぬり絵、カラーペイント創作、1.5m×2m程度の巨大描画にもチャレンジ。音や演奏に興味が大きな子どもはMKGバンドの演奏に参加!?</p> <p>■発表タイム 時間の許す限り、各班の創作アートを、ステージ上で発表してもらおう。講師はそれらの創作アートのどこが素敵だったか、どこをどう変更すれば更に良くなるか等のレクチャーをする。短い時間の中でも創造性を育み、仲間に発表する喜びも体感してもらおう。</p> <p>【実施時期・場所】 ■実施時期 2022年10月~2023年2月の土日祝日の適時な日程で、2会場で開催 各小中学校、特別支援学校、福祉施設等の行事やイベントと重ならない日程、1日を各方面と協議しながら慎重に選定する。 準備は午前中。開催は、12:30 開場、13:00 開講、16:00 終講予定で組み立てる。</p> <p>■実施場所 川崎市立宮崎台小学校、神奈川県立麻生養護学校、中原養護学校、高津養護学校、川崎市立中央支援学校等の中から2校を選択して、体育館等で実施</p> <p>【対象者(募集方法)】 ■対象者 川崎市在住の子どもたち&障がい児(成人も参加可能とする)の皆さん → 20~30名募集(保護者付添可):※感染症拡大予防、3密を避けることを踏まえ定員は厳守。</p> <p>■募集方法 → 開催決定した当該区内の学校の全児童全生徒への募集以外にも、近隣小学校、中学校の特別支援学級へ</p> | |

のご案内も実施

→ 関係各所でのポスター掲示

【感染症拡大防止対策】

- ①教室会場ご入場時に体温計測(検温)を実施。
- ②消毒の徹底:参加者同士が間接的に接触する可能性のある個所(座席、ドアノブ等)については、1時間に1回、または1クールごとにアルコール消毒。
- ③換気の徹底:1時間に1回換気。
- ④座席を有する教室の場合の座席間の空間の確保。各座席間で50cm以上の距離を確保配置

■改善事項■

活動の場をより広げる為にも、これまでに開催実施のなかった特別支援学校の体育館(例えば神奈川県立麻生養護学校、中原養護学校、高津養護学校)での開催を目指す。

■取組課題■

音楽がなんらかの形でアートとして表現出来ているか?自らのアイデアや思い付き、感情を表現出来ているか?共に学ぶ集団、グループの作品に個の表現を重ね、結果それが協働でのアートにどのようにして為ったかを認識出来ているか?各講師の指導に「傾聴」し、「意思」や「印象」を個性として表現出来たか?その、個の作品が、集団での作品へと容易に繋がることを楽しいや嬉しいと感じられているか?を取組課題とする。

■実施効果■

- ①ジャズを体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。
- ②障がい児本人が、自分自身の持つ、文化・芸術の可能性に気づき、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持てるようになる。
- ③文化・芸術が持つエンターテインメントとしての「楽しみ」「気分転換」「気晴らし」「遊び」「息抜き」等が、そのパフォーマンスである障がい児のみならず、周りの家族や仲間をも含め、たくさんの人々に笑顔をもたらす。

【実施結果(成果)】

【実施時期・場所】

①

2022年11月19日(土)

13:00 開場 / 13:15 開演 開講 / 14:30 終演 終講

川崎市立田島支援学校 体育館(川崎市川崎区田島町 20-5)

・子ども(障がい児):20名、保護者/付添:12名

今年度の開催に於いても応募者が予定より多くコロナ禍でもニーズが感じられた。

②

2022年11月23日(祝/水)

13:00 開場 / 13:15 開演 開講 / 14:30 終演 終講

川崎市立宮崎台小学校 体育館(川崎市宮前区宮崎 3丁目 18-2)

・子ども(障がい児):13名、保護者/付添:11名

今年度の開催に於いても応募者が予定より多くコロナ禍でもニーズが感じられた。

が、実施日の頃にインフルエンザの流行が重なり、体調を崩されて参加を断念した子どもが8名に及んだ。

【事業内容】

■パフォーマンス・ショータイム

2022年11月19日(土)は、「ヨシロウバンド」による生演奏&パフォーマンスを披露。

「ヨシロウバンド」:ヨシロウ(バリトンサクス&Vo)、源内(Gt)、わたり(Drs):メンバー/3名

※申請時予定していた MKG バンドはこの日スケジュールが合わない為、2021/12/11(土)の川崎市立浅田小学校での実施の際にパフォーマンスした「ヨシロウバンド」をブックイング。

その演奏の中で、全国の施設等でアートワーク教室を開催するデコピン(SWITCH BOMB)氏が解説しながらのアートパフォーマンス。

2022年11月23日(祝/水)は、「MKGバンド」:東宝ミュージカル『レ・ミゼラブル』への出演経験のある講師を中心に、ピアニスト、ギタリストのメンバー3人によるジャズ、パーカッション、ジャグリングショーを披露。

■創作チャレンジ教室

参加者は、クレヨンアート、ぬり絵、カラーペイント創作にチャレンジ。

■発表タイム

時間の許す限り、各班の創作アートを、会場前方で発表。講師はそれらの創作アートのどこが素敵だったか、どこをどう変更すれば更に良くなるか等のレクチャー。短い時間の中でも創造性を育み、仲間に発表する喜びも体感。

【実際の効果と課題】

デコピン先生も、Jazz 生演奏のバンドメンバーも、講師としての私たちも、音楽とアートチャレンジに関しては誰も「ダメ！」なことは発信/発言しない。

子どもたちがやりたい、やってみたい、とその場で感じたことを「安全」でさえあればなんでもアリで進める。

子どもたちの多くは、Jazz の生演奏、しかも多人数でのライブを体感しながらのアートチャレンジは初めての体験だったでしょう。まさに「夢」や「希望」を知覚出来たと自負している。

参加の子どもたちは自分が表現した作品が会場の皆さんにデコピン先生によって紹介される。それにより、子どもたちは大いなる自信が身体中に湧いてきたことでしょう。

また、実施に於ける改善事項としての目標であった「これまでに開催実施のなかった特別支援学校の体育館での開催を目指す」が、川崎市立田島支援学校での開催として叶った。

結果、「作品」にする手法を経験し、創作過程を経て個々に合った表現スタイルの習得を図れた。

表現し得た「作品」を発表/評価し合うことで、他者理解の経験/習得も図れた。

※参加した子どもの感想の声:一部抜粋

◎「めちゃ楽しい！」

◎「デコピン先生の真似をしたら、めちゃ上手く描けるよ！」

◎「いろんな音楽や演奏やお話をきけるから楽しい！コンサートで絵をかいてみたい」

◎「デコピン先生が誉めてくれたのがすごい嬉しかったよ！」

※保護者さまから頂いた感想の声:一部抜粋

◎「ジャズの生演奏とアート描画を身体で感じる体験は、本人の心の深いところに繋がっていたように思います。ありがとうございます！」

◎「障がいの有無を問わずいろんな人が同じことをしていて、その中でみんなから認めてもらえるってとても自信になるし、ステキな機会になっています。」

◎「デコピン先生の創作センスが素晴らしく、様々に工夫をこらした絵を描く技法が素敵だった。」

◎「ステキな作品を持ち帰っては祖母と祖父に、『これは、こうやって描いたんだよ！』とか『こうやればもっとよくできるんだよ！』と楽しそうに話してくれて、子どもははとともアートを楽しんでいるなと感じました。」

◎「デコピン先生は、子供の本質を理解したうえで、子供に接して下さり、集中するときは集中する、解放するときは解放する、というようにメリハリをつけてすすめてくださるので、親としては、安心した気持ちになる。」

◎「デコピン先生は子どもたちの個性をよくみてくださり、絵から現れ出るものにコメントくださったり、それが親も嬉しい」

【課題】

コロナ禍でもニーズが感じられたが、実施日の頃にインフルエンザの流行が重なり、体調を崩されて参加を断念した子どもが8名に及んだ。今後は、当日キャンセル等が出た場合に、空き枠への追加参加者来場の方法を検討したい。

また、今後は、「音を絵にしてみよう！」から進化して、「音色ってナニ!？」(ねいろってなに!?)をテーマに、音楽&アート体験教室の開催を検討する。